

### 沿岸波浪観測地点の変更について

気象庁では、沿岸波浪観測を水中設置型の超音波式から陸上設置型のレーダー式への変更を行っています。今回、福江島（長崎県）と佐多岬（鹿児島県）での観測を、それぞれ生月島（長崎県）と屋久島（鹿児島県）へ観測地点を変更し、陸上設置型のレーダー式による観測を開始しました。

また、松前（北海道）と江ノ島（宮城県：現在、欠測中）についても、上ノ国（北海道）と唐桑（宮城県）へ観測地点を変更してレーダー式沿岸波浪計による観測を開始する予定であり、現在、最終的な調整をしております。

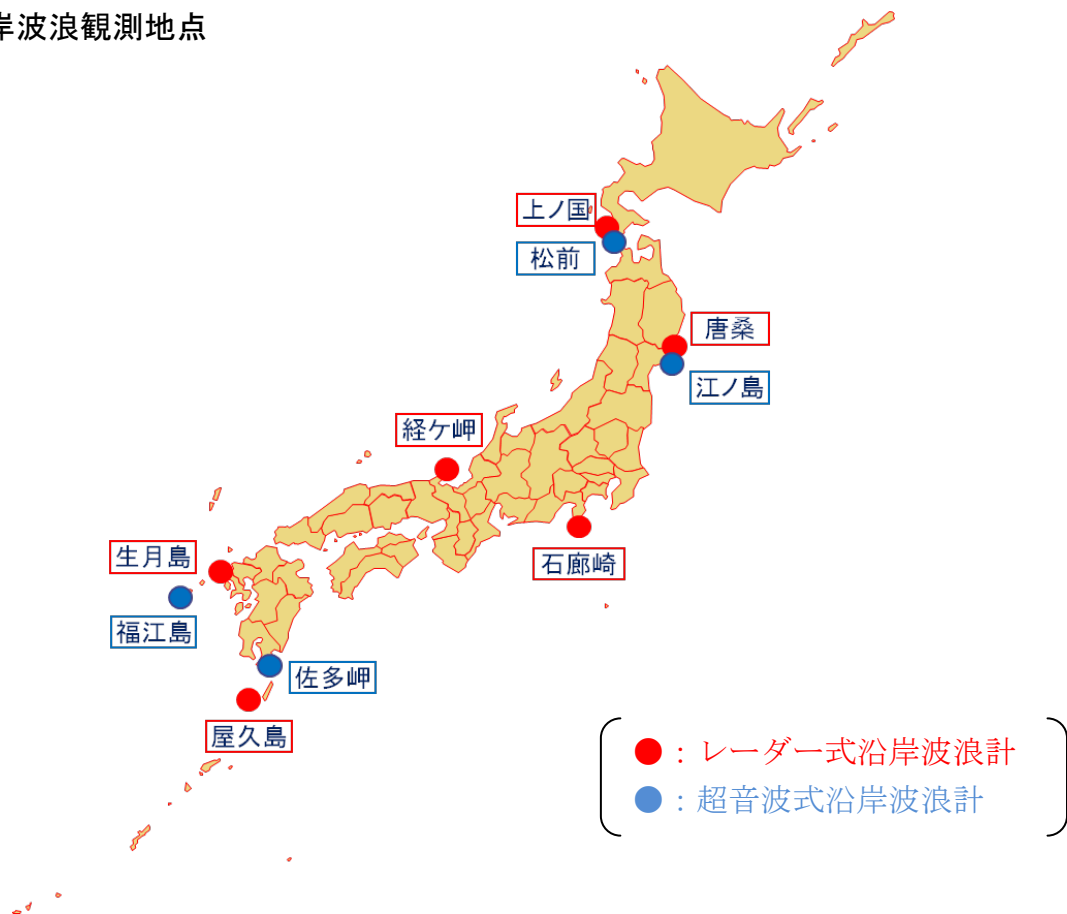
#### 記

|      | 新地点名 | 旧地点名         | 変更日時                    |
|------|------|--------------|-------------------------|
| 長崎県  | 生月島  | 福江島          | 平成24年3月30日<br>09時（日本時間） |
| 鹿児島県 | 屋久島  | 佐多岬          |                         |
| 北海道  | 上ノ国  | 松前           | 現在、最終調整中                |
| 宮城県  | 唐桑   | 江の島<br>（欠測中） |                         |

#### 【本件に関する問い合わせ先】

気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象課  
03-3212-8341（内線5146）

○沿岸波浪観測地点



○レーダー式沿岸波浪計

レーダー式沿岸波浪計は、陸上から発射し海面で反射した電波を捉え、波浪を観測します。今回導入した装置は、水平方向30度毎に6個のアンテナを持ち、方向別の波浪を観測することができます。これにより、その場所の風により発生している波と遠くから伝わってくるうねりの区別や、これらが合成されて波が高くなる様子などを詳細に観測することが可能となります。

